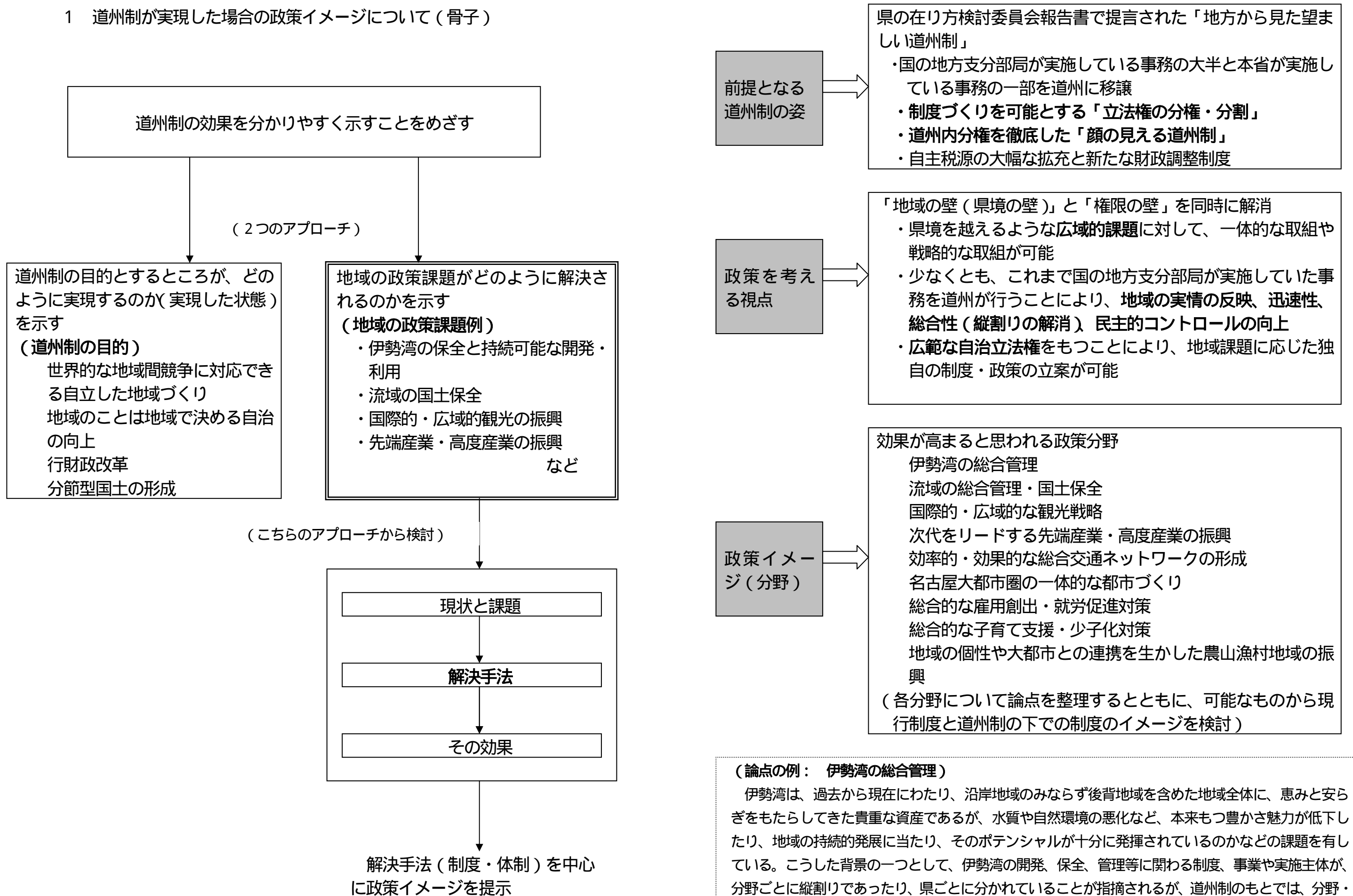


1 道州制が実現した場合の政策イメージについて（骨子）



**(論点の例：伊勢湾の総合管理)**

伊勢湾は、過去から現在にわたり、沿岸地域のみならず後背地域を含めた地域全体に、恵みと安らぎをもたらしてきた貴重な資産であるが、水質や自然環境の悪化など、本来もつ豊かさ魅力が低下したり、地域の持続的発展に当たり、そのポテンシャルが十分に発揮されているのかなどの課題を有している。こうした背景の一つとして、伊勢湾の開発、保全、管理等に関わる制度、事業や実施主体が、分野ごとに縦割りであったり、県ごとに分かれていることが指摘されるが、道州制のもとでは、分野・圏域の壁を取り払い、実効性のあるビジョンに基づいた、総合的・一体的な保全・整備・管理等が可能になるのではないか。